政界人脈

《東ティモール》11番目のＡＳＥＡＮ加盟国
シャナナ・グスマン内閣の閣僚：プロフィール(下)

〔第９次憲政内閣閣僚〕
(前号からの続き)
＊2023年7月1日発足
［略号］CNRT＝(与党第1党)東ティモール再建国民会議
PD＝(与党第2党)民主党

■国防相 Minister of Defense
ドナシアノ・ド・ロザリオ・ゴメス海軍少将
Rear Adm. Donaciano do Rosario da Costa Gomes



テトゥン語(東ティモールの公用語)のペドロ・クラマル・フイク(Pedro Klamar Fuik)という別名でも広く知られる。東ティモール国防軍(F-FDTL)の参謀長から現職(国防相)に就任。学術博士。政党は無所属。
＊独立運動時代の元学生活動家から軍人(F-FDTL将校)になったことから、シャナナ・グスマン首相のような同時代に武装闘争に参加したゲリラ世代と当時の学生世代との橋渡し役を担っている。
＊1989年にローマ教皇ヨハネ・パウロ2世が東ティモールを訪問した際に大規模な独立要求デモのリーダーとして参画し、インドネシア占領軍から追われる身となったため、ポルトガルと後にはオーストラリアに亡命した。
▼1968年5月24日、ポルトガル領ティモール・エルメラ県生まれ(57歳)。ポルトガル統合指揮幕僚大学(IESM：現軍事大学院)卒、オーストラリアで研究課程修了。学術博士号(Ph.D)取得。東ティモール国防軍(F-FDTL)将校：訓練センター司令官、作戦部長、大統領首席軍事顧問などを経て海軍司令官(海軍大佐)に就任。2010年国防大学(IDN)司令官。12年国連ギニアビサウ統合平和構築事務所(UNIOGBIS)顧問。20年新型コロナ(COVID-19)対策本部報道官。22年F-FDTL参謀長(海軍少将)。23年7月1日(第9次憲政内閣)国防相(－現職)。

■財務相 Minister of Finance
サンティナ・ベガス・カルドゾ
Santina José Rodrigues Ferreira Viegas Cardoso



財務省企業支援局長などを歴任した元財務官僚。副財務相から現職(財務相)に昇格(通算2期目)。CNRT党員。
▼1975年11月24日、(インドネシア軍占領下)ティモール生まれ(50歳)。(インドネシア・クパン)ウィディヤ・マンディラ・カトリック大学(WMCU)卒(経済学士：開発学)。卒業直後に子供支援非政府組織(NGO)の職員。2001年東ティモール憲法制定議会事務局員を経て暫定行政府(ETPA)入り。2002年計画・財務省(MPF)国家計画策定調整局(NDPEAC)プログラムオフィサー(PO)。07年計画財政管理能力向上プログラム(PFMCBP)プログラム実施オフィサー(PIO)を経て、財務省企業支援局長。12年8月(第5次憲政内閣)副財務相。15年２月(第6次憲政内閣)財務相に昇格(－17年9月)。23年7月1日(第9次憲政内閣)財務相(2期目：－現職)。

■通商・産業相 Minister of Commerce and Industry
フィリプス・ニノ・ペレイラ Filipus Nino Pereira



東ティモール独立闘争時代の学生活動家で、2002年5月の独立以降に政府入りし、主に産業開発部門で手腕を発揮してきた。旧商業・工業・環境省の副大臣などを経て現職(通商・産業相)。PD党員。
＊政治任用職に就いていなかった2005－07年、2018－19年には東ティモール国立大学(UNTL)などディリの複数の高等教育機関で教官を務め、UNTL経済・開発学部長を務めた。
▼1974年4月10日、ポルトガル領ティモール・ディリ生まれ(51歳)。(インドネシア)ムルデカ大学マラン(UNMER Malang)卒(開発経済学士)、(マラン)ガジャヤナ大学修士(人的資源管理学)。2007年(第4次憲政内閣)青年・スポーツ担当国務長官首席補佐官。12年8月(第5次憲政内閣)産業・協同組合担当国務長官。15年8月(第6次憲政内閣)副商業・工業・環境相(－17年9月)。23年7月1日(第9次憲政内閣)通商・産業相(－現職)。

■計画・戦略投資相
Minister of Planning and Strategic Investment
ガスタン・デ・ソウザ Gastão Francisco de Sousa
東ティモールで最初の移動体通信事業者(MNO)「ティモール・テレコム(Timor Telecom)」の元取締役。PD党員。現職(計画・戦略投資相)では、社会資本(インフラ)整備への公的投資など長期の「戦略開発計画(SDP)」策定を所管する。
▼1960年3月25日、ポルトガル領ティモール生まれ(65歳)。工学士。工学技官：2012年8月(第5次憲政内閣)公共事業相。15年2月(第6次憲政内閣)公共事業・運輸・通信相(－17年9月)。23年7月1日(第9次憲政内閣)計画・戦略投資相(－現職)。

■運輸・通信相 Minister of Transport and Communication
ミゲル・マルケス・ゴンサルベス・マネテル
Miguel Marques Gonçalves Manetelu
独立闘争時代の学生活動家で、「東ティモール民族抵抗学生評議会(RENETIL)」の元事務局長。東ティモール国立大学(UNTL)で教官を務めた。東ティモール少林寺拳法連盟会長。CNRT党員
▼1969年5月5日、ポルトガル領ティモール・ボボナロ県生まれ(56歳)。(インドネシア・バリ)ウダヤナ大学(UNUD)卒(電気工学)。2007年8月(第4次憲政内閣)青年・スポーツ担当国務長

官。15年2月(第6次憲政内閣)副社会連帯相(－17年9月)。23年7月1日(第9次憲政内閣)運輸・通信相(－現職)。

■公共事業相 Minister of Public Works
サムエル・マルサル Samuel Marcçal
現グスマン内閣で初入閣。CNRT党員。国連開発計画(UNDP)や日本政府の支援を受けてインフラ整備、クリーンエネルギー、地域開発などに取り組んでいる。
▼1956年3月31日、ポルトガル領ティモール生まれ(69歳)。(第5次憲政内閣)地域開発担当国務長官。2023年7月1日(第9次憲政内閣)公共事業相(－現職)。

■石油・鉱物資源相 Minister of Petroleum and Minerals
フランシスコ・ダ・コスタ・モンテイロ
Francisco da Costa Monteiro



東ティモールにおける石油産業の第一人者で、国営石油・ガス会社「TIMOR GAP, E.P.」の元創業会長・最高経営責任者(CEO)。CNRT党員。
＊現職(石油・鉱物資源相)としては、東ティモール沖合の「グレーター・サンライズ・ガス田」からのガスパイプライン敷設や液化天然ガス(LNG)プラント開発などの大規模プロジェクトを所管。
▼1956年3月31日生まれ(69歳)。2007年(ティモール海)「共同石油開発地域(JPDA)」東ティモール・コミッショナー。11年10月「TIMOR GAP, E.P.」会長・CEO(－20年7月)。12年政府石油基金投資諮問委員会委員。20年11月石油産業シニア・コンサルタント(事務所開業)。23年7月1日(第9次憲政内閣)石油・鉱物資源相(－現職)。

■農業・畜産・水産・林業相
Minister of Agriculture, Livestock, Fisheries and Forestry
マルコス・ダ・クルズ Marcos da Cruz
(ディリ)パーツ大学(UNPAZ)農業技術学部長を経て政府入り。元副農業・漁業相。CNRT党員。
▼(オーストラリア)クイーンズランド大学(UQ)農学修士(MAgSt)。2003年UNPAZ農業技術学部長。07年(第4次憲政内閣)農業・樹木管理担当国務長官。12年8月(第5次憲政内閣)副農業・漁業相(－17年8月)。19年(第７次憲政内閣)共同組合担当国務長官顧問(－20年6月)。23年7月1日(第9次憲政内閣)農業・畜産・水産・林業相(－現職)。

■保健相 Minister of Health
エリア・ドス・レイス・アマラル
Dr. Élia António de Araújo dos Reis Amaral
医師。CNRT党員。子宮頸がん検診や学校保健プログラムの普及に尽力。
▼2018年6月(第8次憲政内閣)副保健相(－20年4月)。23年7月1日(第9次憲政内閣)保健相(－現職)。

■社会連帯・インクルージョン担当相
Minister of Social Solidarity and Inclusion
ベロニカ・ダス・ドレス Verónica das Dores
入閣前は障害者支援活動に従事。CNRT党員。
▼1954年2月7日、ポルトガル領ティモール・ディリ生まれ(71歳)。(ディリ)パス大学(UNPAZ)卒(行政学士)。23年7月1日(第9次憲政内閣)社会連帯・インクルージョン担当相(－現職)。

■民族解放闘士担当相
Minister of National Liberation Fighter Affairs
ジル・ダ・コスタ・モンテイロ Gil da Costa Monteiro “Oan Soru”
民族解放闘争の元戦闘員。戦闘員時代の別名「オアン・ソル」としても知られる。CNRT党員。
▼1954年2月7日生まれ(71歳)。民族解放闘士評議会(CCLN)書記：2018年6月(第8次憲政内閣)民族解放闘士担当国務長官(－22年3月)。23年7月1日(第9次憲政内閣)民族解放闘士担当相(－現職)。

■教育相 Minister of Education
ドゥルセ・デ・ジェズス・ソアレス Dulce de Jesus Soares
2012年からほぼ一貫して教育担当の副大臣、大臣を歴任。CNRT党員
▼1967年10月20日生まれ(58歳)。(インドネシア・バリ)ウダヤナ大学卒(教育学士)、(豪)ビクトリア大学修士(国際コミュニケーション開発学)。UNICEFプロジェクト・マネジャーを経て、2012年8月(第5次憲政内閣)副基礎・初等教育相。15年2月(第6次憲政内閣)副第一教育相(－17年9月)。18年6月(第8次憲政内閣)教育・青年・スポーツ相(－20年5月)。23年7月1日(第9次憲政内閣)教育相(－現職)。

■高等教育・科学・文化相
Minister of Higher Education, Science and Culture
ジョゼ・ホノリオ・ダ・コスタ・ペレイラ・ジェロニモ
José Honório da Costa Pereira Jerónimo
入閣前は大学教官。無所属
▼1954年2月7日生まれ(71歳)。(インドネシア・サラティガ)クリダ・ワチャナ・キリスト教大学(UKRIDA)理学修士。東ティモール国立大学(UNTL)経済・経営学部教官：23年7月1日(第9次憲政内閣)高等教育・科学・文化相(－現職)。

■青年・スポーツ・芸術・文化相
Minister of Youth, Sport, Art and Culture
ネリオ・イザック・サルメント Neélio Isaac Sarmento
元ジャーナリスト。CNRT党員。
▼1973年3月26日生まれ(52歳)。SCTV(Surya Citra Televisi)などの報道記者。2012年8月(第5次憲政内閣)メディア担当国務長官。15年2月(第6次憲政内閣)社会的コミュニケーション担当国務長官。18年6月(第7次憲政内閣)青年・スポーツ担当国務長官。23年7月1日(第9次憲政内閣)青年・スポーツ・芸術・文化相(－現職)。

(アジア・リンケージ　勝田 悟)